

4年ぶりの東北No.1

～金浦海洋少年団～



7月28日～30日に青森市を会場に行われた「第18回日本海洋少年団東北大会」で総合1位に輝いた金浦海洋少年団が象潟庁舎を訪れ、横山市長に報告をしました。

この大会は、手旗信号やロープを使った結索などの競技でその技術を競います。大会で指揮を務めた巖谷奈々さんは、「夏休み前から早朝訓練など厳しい訓練をしてきましたが、この優勝で辛さは吹き飛びました。来年は全国大会が行われるので、日本一を目指して頑張ります」と次の目標を語ってくれました。

子どもを犯罪から守る 地域の安全ネットワーク



7月14日、象潟自治会長連絡協議会による認証式が行われました。

式には、にかほ警察署長や市内各学校長らが臨席し、子どもや高齢者を犯罪や交通事故から守るために、各町内会長が地域安全を呼び掛けるジャンパーと帽子を着衣して、それぞれの地域で活動することを確認し合いました。

また、JA農協は独自に、「ふくちゃん見まもり隊」を結成し、各農協支店とのネットワーク網を強化して、地域の安全に貢献することになっています。

観光振興 全国展開へ

～観光振興プロジェクトを発足～

7月25日、地域資源の全国展開プロジェクトが発足し、第1回推進委員会が商工会で開催されました。

これは、国が今後国内120箇所を指定する小規模事業者新事業全国展開支援事業に対応するものです。36人の委員から構成する当プロジェクトは、「観光資源開発チーム」「特産品開発販売開拓チーム」「情報発信チーム」とそれぞれ具体的な戦略を掲げて、課題解決のための活動展開を行います。

会議では、大学教授や専門分野の方々からのアドバイスなどがあり、委員の方々との活発な意見交換が行われました。



真夏の夜に響き渡る太鼓の鼓動

～第17回日本海に響け！太鼓の祭典～

7月29日、「第17回日本海に響け！太鼓の祭典」が、前日の雨の影響を受け仁賀保体育館での開催となりましたが、会場には約700人の聴衆が詰め掛けました。

前半は、にかほこども太鼓教室、仁賀保地域の3つの小学校の太鼓クラブ、象潟子ども太鼓教室の小学生総勢56人が出演し、見事なパチさばきを披露。

そして、ゲストの藤原美幸さん（秋田市）と浅野保子さん（秋田市）が唄う民謡は、和やかに聞く人の心にしみ渡り、後半は、象潟九十九島太鼓、蘭導（大仙市）、仁賀保太鼓伝承会と続き、なかでもプロ太鼓集団蘭導の演奏は、力みなぎる大迫力の演奏で観る人の心を掴んでいました。



芭蕉が結んだ縁「西施」

～第17回西施まつり～

8月1日、市国際交流協会諸賢委員会主催による第17回西施まつりが行われました。

これは、松尾芭蕉の句により結ばれた、中国4大美女のひとり「西施」と象潟の縁から、芭蕉が象潟を訪れたこの日に開催されているものです。

今年の西施娘に選ばれたのは、齋藤久美さん（本郷＝写真左＝）と佐々木麻由美さん（下浜ノ町＝右＝）。蛸満寺でのねむの木記念植樹のあと、町内を車でパレードし、公民館で西施の舞を優雅に披露しました。

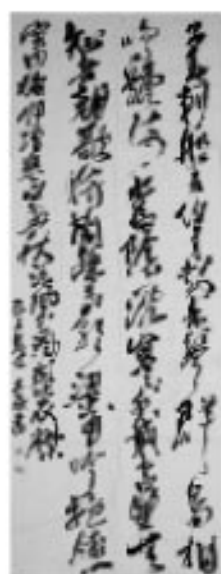


受賞おめでとうございます

▽第43回櫻墨書院展（一般部）

文部科学大臣賞

佐藤 青松（正博）さん（北金浦2区）



▽由利畜産共進会

最優秀賞（乳用牛ジャージー種産区）
乳器特別賞（乳用牛ジャージー種産区）

土田 雄一さん（釜ヶ崎）